

第166号
2024.9
(令和6年)

ひこね 市議会だより



2025 なぎなた

国スポ・障スポで彦根の熱い夏



令和6年5月臨時会 (5月17日)	
令和6年6月定例会 (6月10日~7月1日)	
● 5月臨時会の結果	2~3
● 6月定例会で決まったこと...	4~7
● 個人質問	8~18
● お知らせ	19~20



インターネット中継は [彦根市議会](#) で検索

2025 弓道

決定しました

5月臨時会で小川隆史副議長が当選されました。なお、議長の変更はありません。
また、各委員会の構成は以下のとおりです。

65代議長
上杉正敏 議員



77代副議長
小川隆史 議員



財政難に際し、議長とともに行政のチェック・提案を行う議会の役割を果たし、市民の皆様から信頼と理解を得られる議会運営に取り組みます。

◇ 委員会の構成 ◇

◎：委員長 ◆：副委員長 ○：委員

委員会名	中川 睦子	角井 英明	八橋 龍二	堀口 達也	北川 元気	小川 隆史	辻 真理子	長崎 任男	伊藤 容子	黒澤 茂樹	疋田 菜穂子	和田 一繁	森田 充	戸崎 克司	小川 吉則	矢吹 安子	上杉 正敏	中野 正剛	馬場 和子	林 利幸	奥野 嘉己	森野 克彦	安澤 勝	野村 博雄
企画総務消防常任委員会				◆		○			○				○	○					○		○		◎	
福祉病院教育常任委員会		○	○				◎				○				○			○				○		◆
市民産業建設常任委員会	○				○			○		◆		◎				○	○			○				
予算常任委員会	○			○	◎			○					○		◆			○	○	○	○		○	○
議会改革特別委員会		○			◎			○		○		○	○	○				◆						
議会運営委員会	○				○			◎				○	○					○						◆
議場開放促進委員会					○		○			○	○			○		◎	○			◆				
広報委員会	○		○	◆								○			○			◎				○		○
広聴委員会		○				○		○	◆				○						◎		○		○	

5月臨時会の結果

原案のとおり 予算関係1件 条例関係2件
 可決・承認・同意 その他の議案1件



新しい彦根市監査委員を選任

新しい彦根市監査委員を林利幸議員とする議案に対し、全会一致で同意しました。

5月臨時会 議案の審議結果

会期：5月17日(金)

■ 全員賛成で可決等した議案

項目	番号	件名
議案	46	令和6年度（2024年度）彦根市一般会計補正予算（第2号）
	48	彦根市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案
	49	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	5~7	損害賠償の額の決定について

■ 賛否が分かれた議案

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	八橋	堀口	北川	小川	辻	長崎	伊藤	黒澤	疋田	和田	森田	戸崎	小川	矢吹	上杉	中野	馬場	林	奥野	森野	安澤	野村	
議案	47	専決処分につき承認を求めることについて（彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例）	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

このような討論がありました

討論の対象議案 議案第47号

専決処分につき承認を求めることについて
 （彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例）

反対

定額減税は一時的対策に過ぎず、賃金上昇が物価高に追いつかない国民の負担を緩和するには、長期的かつ根本的な消費税減税が最適であるため反対。



6月定例会の結果

6月定例会の結果

原案のとおり可決 予算関係3件 条例関係8件
 その他の議案2件 委員会議案2件
 否決 意見書案1件

6月定例会 議案の審議結果

会期：6月10日(月)～7月1日(月)

■ 全員賛成で可決した議案

項目	番号	件名
議案	52	彦根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
	53	彦根市市税条例の一部を改正する条例案
	56	彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	57	彦根市景観条例の一部を改正する条例案
	59	彦根市水道事業布設工事監督者および水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例案
	60	財産の取得につき議決を求めることについて
	61	財産の取得につき議決を求めることについて
	62	令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第4号)
委員会議案	2	彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案
	3	彦根市議会会議規則の一部を改正する規則案

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	8	令和6年度(2024年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について
	9	第37期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について
	10	第22期株式会社四番町スクエアの事業計画について
	11	令和5年度(2023年度)彦根市繰越明許費繰越計算書について
	12	令和5年度(2023年度)彦根市事故繰越し繰越計算書について
	13	令和5年度(2023年度)彦根市病院事業会計予算繰越しについて
	14	令和5年度(2023年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて
	15	令和5年度(2023年度)彦根市下水道事業会計予算繰越しについて

■ 賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 —：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	八橋	堀口	北川	小川	辻	長崎	伊藤	黒澤	疋田	和田	森田	戸崎	小川	矢吹	上杉	中野	馬場	林	奥野	森野	安澤	野村	
				睦子	英明	龍二	達也	元気	隆史	真理子	任男	容子	茂樹	穂子	一繁	充	克司	吉則	安子	正敏	正剛	和子	利幸	嘉己	克彦	勝	博雄	
議案	50	令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第3号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51	令和6年度(2024年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	54	ひこね市文化プラザの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55	みずほ文化センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	3	高等教育の無償化を求める意見書案	否決	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	

5月臨時会・6月定例会に提出された議案等の詳細についてはこちらから



議案一覧議決結果



意見書・決議



このような討論がありました

討論の対象議案 議案第50号 令和6年度（2024年度）彦根市一般会計補正予算（第3号）
 議案第54号 ひこね市文化プラザの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
 議案第55号 みずほ文化センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案

賛成

議案第50号のうち図書館中部館の建設に関して概算工事費の妥当性を評価し、建設コストを抑制し、市が取り組むこと。また議案第50号のうち金亀公園整備事業と開庁時間短縮について、および議案第54号・55号のひこね市文化プラザおよびみずほ文化センターの使用料値上げについては市民の声を聞きながら、必要があれば修正するなど柔軟に対応し、真に市民に寄り添う施策となるよう進めることを申し添えて賛成。

反対

議案第50号は行政側のコスト削減がメインで、市民へのサービスを一律に切り捨てるもの。住民サービスの充実をメインにすべき。議案第54号と55号は公共施設の維持管理は行政の責任であり、市民が納得し、利用しやすい仕組と料金設定にすべきで、利用料金の大幅値上げは市民活動を阻害する懸念から反対。

討論の対象議案 議案第51号 令和6年度（2024年度）彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

反対

マイナ保険証は任意取得の原則に反し事実上の強制となっている。また政府の「なし崩し」には過去に失敗例があり、情報漏えいの懸念もある中でマイナ保険証推進は混乱を招き、「誰1人取り残されない、人に優しいデジタル社会」に反しているため反対。

討論の対象議案 議案第58号 彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

反対

この条例案は、後発医薬品のある先発医薬品（長期収載品）を利用する際、後発医薬品との差額を患者に負担させるもの。生活が苦しい市民にとって、この負担増は受診抑制や治療制限を招き、健康維持が困難になるため反対。

討論の対象議案 意見書案第3号 高等教育の無償化を求める意見書案

賛成

若者の能力を引き出し国を成長させるためにも無償化が必要にも関わらず、高等教育の授業料が急激に上昇している。高等教育の無償化を漸進的に導入し、適当な奨学金制度を設立する規定のある国際人権A規約も批准しており、政府には無償化を漸進的に進めていく責任がある。日本国憲法も能力に応じて等しく教育を受ける権利を保障しているため賛成。

一般会計補正予算の主な事業

予防接種事業

1億1,892万円

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの特例臨時接種が令和6年3月31日で終了し、令和6年度以降の新型コロナウイルス感染症に係る予防接種は65歳以上の高齢者と60歳から64歳までの重症化リスクの高い者を対象とする定期的予防接種に位置づけられることとなったため、実施に必要となる経費です。



予算常任委員会

議案はいずれも原案の通り可決

予算常任委員会は、6月21日(金)、7月1日(月)に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第50号、議案第51号、議案第62号

【主な質疑】

- 議案第50号に対して
 - Q 開庁時間の短縮に伴う準備経費の補正について、木曜日の延長サービスと第2日曜日の開庁時間は。
 - A 木曜日の窓口延長サービスは9月末で終了。日曜日の開庁は住民異動の繁忙期に限り、必要に応じて柔軟に対応する予定。
 - Q 彦根駅西口駅前広場整備事業について、国庫補助金返納の1,326万2,000円の説明を求める。
 - A 本事業は現状の交通課題を解消するために進めてきたもので、令和元年度に実施設計、令和3年度に交通量調査を行った。これを基に関係機関と協議を重ねたが、財政的な余裕がないため、計画を見直し、補助金返還に至った。

【主な討論】

- 議案第50号に対して
 - 反対 市役所の仕事は住民サービスの質を優先すべきで、特に震災時の住民の安全を考えると、市民の合意と納得を得てから進めるべき。十分な検討時間が必要だったため反対。
- 議案第51号に対して
 - 反対 マイナンバーカードの保険証への紐づけはトラブルが多く、全国での利用率も低い。利用が進まないのは、医療機関や利用者が不利益を感じているからで、便利であれば、国が強制しなくても広がるはず。任意であるはずのマイナンバーカードに保険証を紐づけるのは国民の命に関わる問題であり、現行保険証の廃止に反対のため、マイナ保険証の運用経費には反対。

【結果】

- ・議案はいずれも原案の通り可決

福祉病院教育常任委員会

財産の取得につき議決を求めることについては原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会は、6月24日(月)に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第61号

【主な質疑】

- Q 彦根市立中学校生徒用机の購入について、教育活動ができるだけの教室内の広さが確保できるか。
- A 学級の生徒数も変わっており、机の横に何も置かないように工夫することで対応できる。机が大きくなったことで以前より色々なものが一緒に置けるようになるので良いという意見もあった。
- Q 古い机はどのように有効活用するのか。

- A 既存の机については納入業者に引き取りをお願いしているが、学校で使用するので残してほしいという要望があれば、残して活用する予定をしている。
- Q 今回購入する机は低価格かと思うがこの机を購入する理由は。
- A 入札の仕様を令和5年度から大きな天板規格の机に更新している。こちらの求める仕様に対して業者が同等品として提示された機種が今回の机であった。

【結果】

- ・議案は原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、6月25日(火)委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第54号、議案第55号、議案第57号

【主な質疑】

- 議案第54号に対して
 - Q どの施設が一番利用が多いのか。
 - A 利用料金別にグランドホールが最も多く、次いで、エコホール、メッセホール、第1リハーサル室、楽屋等となっている。
 - Q 減免を受けて利用される団体割合は。
 - A 令和5年度については約6割、令和4年度は約5.5割である。
- 議案第55号に対して
 - Q みずほ文化センター利用者の特徴は。
 - A 落語や演歌などの事業が多いため、家族連れや高齢の方が利用されている。
- 議案第57号に対して
 - Q 規制を厳しくすると人口減少や、空き家が増えるのでは。
 - A この景観の取組により、地域の環境も向上し、市の特徴ある景観が形成していく

と考える。また空き家対策に直接的につながるのは難しいが、観光客の増加、地域の価値の向上が、環境の向上につながると考える。

【主な討論】

- 議案第54号に対して
 - 反対 公共施設は、市民の税金で作られているもので市民共有の財産である。それを維持管理していくのも行政の責任であり、利用料金の値上げは市民に負担をかけるため反対。
 - 賛成 今後維持していくためには多少の値上げは仕方がない。ただ市民が利用しやすいように、利用をしてよかったと思えるように減免規定の見直しも合わせてしていただくことを付け加えて賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

議案は原案の通り可決

企画総務消防常任委員会は、6月26日(水)に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第60号

【主な質疑】

- Q 9者を指名して3者の応札であり、応札業者が少なく感じるが。
- A 前年、前々年度と6者が応札されているので、半減した状況。昨今の社会情勢で車両の供給が非常に不安定であり、各社とも自社の供給能力等を考慮して辞退されたものかと考えるが、正確な理由は把握していない。
- Q 高機能かつ高額な車両だが価格だけで決定したのか。
- A 指名競争入札を行っている。こちらが提示した仕様に対して価格が一番安い業者に決定している。
- Q 車両の更新は計画に基づいて行っているのか、それとも機能の低下によって行うものなのか。
- A 機能低下が現状みられるというものでは

ないが、一定期間使用しているので、使用に伴い経年劣化の部分は必ずあり、それが原因で今後機能が低下して消防活動に支障をきたす恐れがある。更新計画に基づいて、毎年1台の更新としているところ。

- Q ずっと1者からの購入が続いているが他者から購入した実績が過去にあるか。
- A これまで他の業者が落札したことはない。
- Q 旧車処分方法に関して、鉄くず処理になるのはもったいない。必要とする団体があれば声かけを望むが、何団体声かけするつもりなのか。
- A 過去に寄贈した団体としては地元の工場等を除くと、一般社団法人日本外交協会と公益財団法人日本消防協会の2団体となっている。

【結果】

- ・議案は原案のとおり可決





6月定例会個人質問

21人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。
配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。
(<https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/>)



各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



野村 博雄議員

Q 資源となる古紙等の回収につき少子高齢化の進展に合わせた施策等が必要では

A 更なる工夫や周知を行うと共に他市町の事例等調査・研究を進める

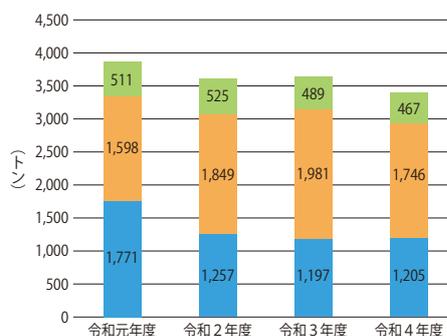


その他の質問

- ・荒神山の駐車場や誘導表示について
- ・交通事故を無くすため歩道やカーブミラー、横断歩道の整備推進について

- Q** 資源となる古紙や衣類の回収について、更なる周知が必要では。
A 一層の周知を図ると共に、更に工夫ができないか検討していく。
Q 衣類を出す時の注意事項をもっとわかりやすく示せないか。
A 今後、イラストや写真等を活用し、より詳しく掲載していく。
Q 集団回収の継続が難しくなっている団体への支援は。
A 集団回収の必要性の周知を図ると共に、他の自治体の取組状況も踏まえ研究を進めていく。
Q 行政回収の集積場所を増やす必要は。
A 自治会等に更に協力いただけるようホームページや広報等で一層周知を図っていく。
Q 少子高齢化の進展に合わせた施策が必要では。
A 少子高齢化に応じたリサイクル推進の新たな取組ができないか、他市町の事例等調査・研究を推進していく。

古紙等資源回収量の推移 (R1~R4)



▲回収区分別の古紙等資源回収量推移



馬場 和子議員

Q さざなみ街道に彦根初の道の駅の設置は賑わい創出につながるのでは

A 費用対効果の高い施設にするための戦略策定が必要であり研究を進める



その他の質問

- ・熱中症警戒特別アラートの運用を受けた熱中症対策について
- ・介護現場の現状と健康寿命延伸の方策について

Q 地場産野菜・近江牛・地ビールとのコラボで「BBQのメッカ」を目指す考えは。

A 市の施設や地元農産物等の魅力をPRする一手段であり、関係機関等と協議しながら実現に向け調査・研究していく。

Q 道の駅に対する市の見解は。

A 休憩機能・情報発信機能・地域連携機能+観光や商業、防災等の様々な機能の組み合わせでまちづくりに貢献でき、併設の物販・飲食・温浴施設など賑わい創出につながる。

Q 彦根の赤鬼魂を發揮し先駆けて、さざなみ街道にピワイチやびわツー（琵琶湖一周ツーリング）と連動した彦根初の道の駅を設ける考えは。

A 複合的な道の駅を設置すれば集客に期待できるが費用対効果の高い施設にするための戦略策定が必要。慎重に研究を進めているところであり、現在、設置の計画はない。



▲複合的な公園として利活用されている湖岸緑地「南三ツ谷公園」



奥野 嘉己議員

Q 指定金融機関(株)滋賀銀行の公金事務取扱手数料値上げへの対応は

A 市長会を通じ、県内他市と連携して対応する



その他の質問

- ・小学校タブレットの使用状況
- ・広報ひこねに無料駐車場券添付を
- ・自治会環境整備作業へのパッカー車手配

Q 2月定例会にて指定金融機関である銀行から、公金事務手数料の値上げの可能性を指摘していた。

今まで年額200万円程度であった手数料が、本年10月から年額1,000万円弱の値上がりとなる議案であるが、その理由は。

A 銀行間の公金振込手数料の有料化に伴い、(株)滋賀銀行の事務経費と合わせた費用負担を求められた。当初の自体内振込手数料1件100円（他行振込162円）の値上げ要求を1件20円（他行振込82円）として妥結しており県内他市と同額。

Q 今後の更なる値上げの可能性はあるなか、他銀行との相見積もりも含め、どのように対応をしていくのか。

A 市長会を通じ、他市と連携し交渉をするとともに、内部努力として振込件数削減に取り組む。



▲市役所一階フロア出納室



和田 一繁議員

Q 彦根市立図書館前の樹木を伐採した目的は

A 利便性の向上を図ることを目的として樹木の伐採を行った



その他の質問

- ・県道から図書館に入る交通対策について
- ・彦根城の世界遺産登録のこれからについて

Q 彦根市立図書館前の樹木を伐採した目的は。

A これまでから慢性的な駐車台数不足が生じており、これを解決するため、図書館前の緑地帯を活用して駐車台数を確保するとともに、図書館利用者に対しても、近くに車寄せを整備するなど、利便性の向上を図ることを目的として樹木の伐採を行った。

Q 駐車場内に緑地部分は設けないのか。

A 旧港湾沿いに緑地帯を設けることや場内でスポット的に緑化を行うことで、施設配置上可能な範囲で緑地部分を確保する計画である。「彦根市緑の基本計画」も定めており、既存樹木を一部残しつつ、最大限の緑地の確保にも取り組んでいく。

Q 駐車場として供用開始の時期は。

A 令和7年4月1日を目標としている。



▲彦根市立図書館前広場の様子（6/4現在）



戸崎 克司議員

Q 彦根市の自主財源確保や経済効果をもたらす政策は

A レイラック滋賀FCのJリーグ昇格や「映画のまち彦根」を目指す取組等



その他の質問

- ・松原浜の湖岸浸食、浜がけの安全対策は
- ・イベントや観光の繁忙期の松原駐車場の開設は

Q 彦根市の財源において、令和5年度のふるさと納税の成果は。

A 寄附受入額は約10億7,610万円で前年度比約116%と増加している。

Q レイラック滋賀FCがJリーグ昇格した場合の経済効果は。

A クラブの規模や地域等によって異なるが、2022シーズンではJ1クラブで40～200億円、J2クラブで16～81億円、J3クラブで10億円を超えることが報告されている。

Q 彦根城が世界遺産に登録された時の経済効果は。

A 登録以前より著名な観光地である場合とそうでない場合では差があるが、彦根城についても相当の観光客の増加が予想され、彦根市をはじめ、近隣自治体に大きな経済効果をもたらすと考えている。



▲彦根市が力を注ぐ取組例



長崎 任男議員

Q 目標地図の作成に農地の所有者、耕作者の意向は反映されるのか

A 可能な限り制度の周知やご意見を伺う機会を設ける

Q 現在、彦根市でも進められている農地の地域計画とはどのようなものか。

A 将来にわたって農地が適切かつ効率的に利用されるよう、地域の農業のあり方や耕作者等についてまとめた計画であり、現在、農業委員会において農業集落単位で目標地図の素案作成が進められている。

Q 集落単位の話し合いで、農地の所有者や耕作者の意向はどの程度反映されるのか。

A 目標地図の作成においては、10年後の耕作者を農地ごとに定める必要があり、集落の意向および耕作者の意向を反映させるのが最重要である。集落の農業組合、自治会といった代表者や構成員、および耕作者を中心に目標地図を作成いただくことになる。農地の所有者についても可能な限り制度の周知やご意見を伺う機会を設ける。



その他の質問

- ・人口戦略会議の報告書から見る彦根市の展望は
- ・ひこにやん米とは
- ・ふるさと納税の返礼品にしてみても



▲地域計画と目標地図



辻 真理子議員

Q 子宮頸がんワクチン接種再開後の状況は

A 小6～高1相当の女子で、令和4年度196名、令和5年度245名接種

Q 子宮頸がん定期接種の対象者は。

A 小6～高1相当の女子で、2022年度は2,617名、2023年度は2,213名。

Q 接種者数は。

A 接種者数は2022年度は196名、2023年度は245名。

Q キャッチアップとは。

A キャッチアップとは、積極的勧奨がされなかった期間の対象者に、再度無料で接種をしていただく機会を設けるもので、今年度が最終年度。

Q 副反応の調査結果の公表は。

A 厚生労働省HPで公表され、報道提供されている。

Q ワクチンは3種あるが、対象者はどれを接種するかを選べるか。

A 受診時に説明を受けて、医師と相談の上、決める。

Q キャッチアップ、定期接種の期間が終了したら、任意接種となるのか。

A 任意接種は自己負担となり、最大で8～10万円（3回接種）になる。



▲厚生労働省の子宮頸がんワクチンのリーフレット





森野 克彦議員

Q 昨年、集団搬送事案が発生したが、同じ事態を生じさせないためには

A 原因を踏まえての対応、さらに熱中症予防や対策が必要と考えている



その他の質問

- ・メタバース(※)を活用した不登校支援を検討すべきでは
- ・学校内に不登校で悩む児童生徒が安心して学習できる居場所はあるのか

Q 昨年、市内小学校で30人以上が熱中症により救急搬送された事態の原因は。

A 関係機関と発生原因等の分析の結果、①開催日時や内容を変更し、運動場にテントの設置などの対策を講じたが、当日は高温多湿で風のない熱のこもりやすい状況となったこと ②給水呼びかけが、児童全員の水分摂取状況を十分に確認できなかったこと ③疲労を訴える児童が続出し、体調不安への集団心理が働いたこと が主な原因と分析した。

Q 今年、同じ事態を生じさせないにはどうすべきか。

A 児童生徒が自ら健康管理ができるよう指導し、保護者への啓発を行っている。運動会の時期や内容等を見直し、暑さ指数の測定や体調管理を徹底する。熱中症予防対策マニュアルに、集団搬送時の指揮系統、保護者連絡等の体制を追記した。

※メタバースとは、多人数が参加可能で、参加者がその中で自由に行動できるインターネット上に構築される仮想の三次元空間のことです。



▲令和5年9月28日に発生した彦根市での熱中症救急搬送時の様子



伊藤 容子議員

Q 物価上昇を含め図書館中部館の工事費概算費を抑える必要があると思うが、市の見解は

A 工事費用は一定の質を担保した上で、コストコントロールも図りたい



その他の質問

- ・介護支援専門員（ケアマネ）の労働環境について
- ・近年の2大公共事業から得た知見と反省について

Q 物価上昇の中、厳しい財政状況を考慮すると、工事費概算費を工事費上限の14億より低額で収める必要があるのでは。

A 基本設計の特記仕様書の工事費上限14億円は、令和4年時点のもので、物価上昇分は含まれていない。

Q まさに、その物価上昇分の金額をどう考えるか。過去の答弁では市の方で判断するとされており、しっかり取り組んでもらいたい。金額が妥当かどうか物価上昇を含めて工事費概算費を抑える必要があると思うが、市の見解は。

A 一定の質を担保した上で、工事費用はコストコントロールも図りながら、実施していきたい。物価上昇分については、基本設計の調査時点でも含まないとしており、今回いただいた質問や意見を十分に考慮し、事業を進める。

区分	品目	数量	単価	金額
建築費	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000
	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000
	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000
	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000
	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000
	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000
	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000
	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000
	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000
	建築費	1	14,000,000,000	14,000,000,000

▲図書館中部館の概算工事費（令和4年度時点）
（旧ひこね燦ばれず図書館化調査検討報告書より抜粋）



中野 正剛議員

Q 今後、彦根市は認知症高齢者の減少にどう取り組むのか

A 他の関連分野にも参画をいただき検討を行う必要がある



その他の質問

- ・彦根市でも週休3日制の導入を
- ・地域コミュニティーのデジタル化を
- ・新生児マススクリーニング検査の周知を

Q 今年の秋には「認知症施策推進基本計画」が策定されるが、今後、彦根市はどのような取組をしていくのか。

A 今後、拡充していく必要がある内容として、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」を確認すると、移動のための交通手段の確保や地域における認知症の見守り体制の整備、社会参加の機会の確保、科学的知見に基づく認知症の普及啓発などを検討していく必要がある。

「認知症基本法」の目的は、「認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会の実現を推進すること」であることから、地域で暮らす上で不可欠な、産業、交通、教育、まちづくりなどの関連分野にも参画をいただき、検討を行う必要があると考えている。



▲認知症高齢者2012年調査と2022年調査との比較



八橋 龍二議員

Q 今年度ベルロードの歩道の修繕工事はされるか

A 特に損傷が著しい箇所について部分的に修繕される



その他の質問

- ・バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化に向けての現況と今後の予定は

Q 今年度ベルロードの歩道の修繕工事はされるか。

A ベルロードの道路管理者である滋賀県に確認したところ、今年度は、歩道の巻き込み部や店舗出入口などの特に損傷が著しい箇所について部分的に修繕されると聞き及んでいる。

Q 工事の日程は。

A 年内を目途に完了すると聞き及んでいる。

Q 工事の範囲は。

A 後三条西交差点から戸賀町西交差点の間、約1.4キロメートルである。

Q 点字ブロックの破損が確認された場合すぐに対応してもらえるか。

A 点字ブロックは、視覚障害者にとって必要不可欠な重要設備であると認識しており、破損を確認したらできる限り早急に対応するように努めている。



▲改修が行われる予定の歩道



小川 吉則議員

Q 市民への認知症に関する啓発は

A サポーター養成およびサポーターステップアップ講座を開催



その他の質問

- ・認知症家族介護者の支援について
- ・パートナーシップ宣誓制度について
- ・ファミリーシップ宣誓制度について

Q 市民への認知症に関する啓発はどうなっているか。

A 認知症サポーター養成講座および認知症サポーターステップアップ講座を開催している。

Q 認知症サポーターとはいったいものか。

A 認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けをしてもらう人。

Q 認知症行方不明者に対する支援は。

A 彦根市メール配信システムを実施し、行方不明になるおそれのある人の事前登録者数は、令和6年5月末現在で276人である。見守り安心シールは、行方不明となるおそれのある高齢者の衣服や持ち物に貼って使用するシールで、登録者数は令和6年5月末時点で51人となっている。



▲認知症サポーター養成講座チラシ



中川 睦子議員

Q 金亀公園整備計画が高額になった理由は

A 連絡橋の地盤対策、駐車場拡張、管理事務所移転、道路改良など



その他の質問

- ・彦根城北側の環境整備を
- ・フリースクールの公的支援を
- ・多様化する学びの環境をどうすすめているか
- ・就学援助制度の利用拡充を

Q 金亀公園整備計画のそれぞれの経費と総額は。

A 連絡橋整備費約8億800万円、野球場解体と多目的グラウンド整備費約1億4,000万円、多目的技場の人工芝整備と夜間照明約2億300万円、休憩所等の施設改築費約6,900万円、電気設備と園路整備費約2億2,000万円、駐車場改修費約1億3,500万円、管理事務所移転費約1億1,500万円、道路改良費6,400万円、総額17億5,400万円。

Q もともと9億3,000万円。高額になった理由は。

A 連絡橋の地盤対策、駐車場の拡張、管理事務所の移築、安全のための道路改良、人件費と資材高騰が考えられる。

Q 予算計上されている管理事務所等の2億円余りについて圧縮できないのか。

A 工事発注の中で入札により圧縮できることもある。



▲2017年の金亀公園整備計画



森田 充議員

Q 開庁時間短縮の目的は

A 短縮で確保した時間により今後の市民サービス向上に向けた取組を進めるため



その他の質問

- ・ひこね市文化プラザ、みずほ文化センターの使用料値上げに至った経緯は
- ・彦根市が現在、保有している公共施設は

Q 開庁時間短縮の変更内容は。

A 市役所本庁舎や福祉センター、支所・出張所など10施設の開庁時間と直通の電話受付時間が、現行は平日8時30分から17時15分までであるが、令和6年10月1日からは、平日9時から16時45分までに変更となる。

なお、職員の勤務時間および執務時間はこれまでどおりであり、市立病院や消防、清掃センター、図書館、幼稚園、保育園、子ども園などの時間もこれまでと変わりはない。

Q 実施に向けての周知方法は。

A 本市のHPに掲載するほか、広報ひこねで8月号から3か月連続で掲載する予定。

またSNS等の各種媒体やひこねしちよーCHを通じて随時周知していくほか、庁内にポスターを掲示し、市民をはじめ、事業者や関係団体の皆様へ、窓口を短縮する10月までに丁寧に幅広く案内していく予定。



▲新たな働き方が始まる市役所



安澤 勝議員

Q もう少し深く埋めるとか目に見えないようにできないか

A 土砂などを用いて覆土を行い適切に管理するよう努める



その他の質問

- ・猟友会ハンターに対する報酬は
- ・ニホンザル対策の強化を
- ・山を荒らすオフロードバイク排除を

Q 駆除したシカやイノシシの処分方法として彦根市鳥居本町外13ヶ町財産区の山に埋葬しておられるが、この場所は鳥居本中学校の森林学習をしているごく近いところにあり生徒の目につける可能性がある。もう少し深く埋めるとか目に見えないように対策できないか。

A 彦根市鳥居本町外13ヶ町財産区での埋設処理については、職員がスコップを用いて作業を行っているが、山林での埋設は地盤や土中の根や石の影響を受け十分な深さが掘れてないこともある。今後においては財産区と埋設場所の調整などを行い、掘り返しが起こりにくい深さに埋設するとともに、定期的にパトロールを実施し、状況によっては土砂などを用いて覆土を行い、適切に管理するよう努める。



▲動物の骨が散乱



疋田 菜穂子議員



特定空家を含む空き家対策への取組は



相続財産管理人制度の活用および民間との連携に力を入れる



その他の質問

- ・スクールガード活動について

Q 空き家の管理者とは。

A 事実上管理している者も広く含み、管理している法人等も管理者に含まれる。

Q 市内特定空家の件数は。

A 令和6年5月末までに認定したものは6件。

Q これらの現状は。

A 6件のうち、3件は所有者が確知されており、指導の結果、自主解体で除去されている。残る3件は相続放棄で所有者不在である。このうち1件は略式代執行を行い、2件は、定期的な見回り、注意喚起等を行っている。また、略式代執行は解体工事費561万円でこのうちの228万円は国からの補助金である。従って、現在市内に存在する特定空家は2件である。

Q 特定空家対策の今後は。

A 代執行による解体は財政上厳しいが、相続財産管理人制度を活用しての民間と連携した取組に力を入れていきたい。



▲市内特定空家



黒澤 茂樹議員



金亀公園駐車場へのカーゲート設置の時期は



来年4月に向け、今年度には料金設定について条例提案する



その他の質問

- ・開庁時間の変更について
- ・人事部設置による効果、働き方・業務改革推進の成果について
- ・専門職大学の誘致について

Q 金亀公園駐車場の利用状況は。

A 平日の平均で駐車可能台数の4割、60台程度、土曜日や日曜日・祝日は朝から夕方まで平均で9割、130台程度と推定される。観光シーズンや大会、イベントの開催時は、慢性的に満車の状態となっている。

Q 駐車場の利用目的は。

A 公園利用者が約7割、図書館利用者が約1割、観光客や釣り客等の目的外利用が約2割と推定している。

Q 駐車場へのカーゲート設置の時期は。

A 目標として来年4月からの駐車場有料化に向け、カーゲートの設置、駐車料金の設定や条例改正の提案をする予定で事業を進める。

Q カーゲート設置に係る財政負担は。

A 民間駐車場運営事業者が設置や運営に係る費用を駐車場の利用料収入により賄う手法を予定しており、市の財政負担は生じないと考えている。



▲現在の金亀公園出入口



北川 元気議員

Q 市役所開庁時間の短縮で期待される効果は

A 業務改善の会議や電子申請の拡充など、市民サービスの向上を図る



その他の質問

- ・ひこね市文化プラザ
防水改修工事の内容、
利用率への影響
- ・四番町スクエア
黒字化の要因、活性化
による市民メリット

Q 開庁時間短縮の目的と期待される効果は。

A 職員の時間外勤務の改善を目的とし、これにより確保された時間で、業務改善の打合せや電子申請サービスの拡充など、市民サービスの向上が期待される。

Q 職員の働き方改革の具体的な目標や評価基準は。

A 管理職を含めた職員 1 人当たりの年間時間外勤務時間を前年度比90%以内にする。

Q 短縮によって生まれる時間はどのように使われるか。

A 業務改善の会議や電子申請サービスの拡充、LINEの利用拡大などに充てられる。電子申請サービスの件数が増加しているため、これを拡充し、オンラインサービスの利用を促進することで市民サービスの向上を図る。

Q 短縮によって削減できる費用は。

A 時間外勤務の削減により年間人件費で450万円、光熱水費で150万円、合計600万円の削減が見込まれる。



▲彦根市LINE公式アカウント



矢吹 安子議員

Q 孫の育児に協力し、孫育てで仕事を休む「孫育て育休」の導入は

A 職員のニーズや、国、県、他市町の動向を踏まえ研究していく



その他の質問

- ・会計年度任用職員の処遇について
- ・一般事務から事務補助になった理由は
- ・会計年度任用職員の「働き方ガイドブック」の作成は

Q 祖父母世代が、職場において孫の育児のために休暇を取ることができ、子育て世代の負担軽減につなぐ、この制度は他の自治体や企業で広がっている。「孫育て育休」に対する本市の基本的な考えは。

A 親だけではなく、様々な人と協力しながら子育てを進めていける社会が少子化対策にも必要であることから、祖父母の育児参加を促進することで子育ての負担を分担し、労働と家庭の両立が促進される効果がある。

Q 「孫育て育休」の導入をされてはと考えるが。

A 60歳以降に多様な働き方が可能となる、フルタイムではなく週4日勤務や短時間勤務を選択できる定年前再任用短時間勤務制度を導入しているため、現時点で孫育て育休は考えていない。今後、職員のニーズや、国、県、他市町の動向を踏まえ、難しい部分もあるが前向きに研究していく。





堀口 達也議員

Q マイナンバーカードを活用した救急業務の実証事業のメリットは

A かかりつけ医療機関の推測、手術病院の選定、治療中の疾患の推測ができる



その他の質問

- ・デジタル城下町プロジェクトの詳細は
- ・学校支援・いじめ対策事業についてサポートチーム設置の目的は

Q マイナ保険証の利用登録の状況は。

A 本市のマイナンバーカードの保有率は令和6年4月30日現在、75.1%で約84,000人。マイナ保険証の利用登録の状況は、保有率から換算すると約66,000人。

Q マイナンバーカードを活用した救急業務の実証事業の目的は。

A 傷病者の診療情報をいち早く入手することで、処置、搬送先の病院の選定、病院到着までの時間を短縮するため。

Q システムの閲覧情報およびメリットは。

A 閲覧できる情報は、診療情報、薬剤情報、特定健康診査受診結果の3つ。かかりつけ医療機関の推測、手術を行った病院の選定、処方薬から治療中の疾患の推測などメリットがある。

Q 前回の実証実験との変更点は。

A 傷病者本人の同意が必要だったが、生命、身体の保護が必要な場合、同意なくとも閲覧可能となった。



角井 英明議員

Q 大阪・関西万博へ児童・生徒が招待された時の教育委員会の役割は

A 安全の確保と学習目的の達成に向けて指導助言を行う



その他の質問

- ・「食料・農業・農村基本法」改定案の彦根市の農業への影響は
- ・ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターの使用料引き上げについて

Q 会場の夢洲でガス爆発事故が起こっているが、安全は確保されているのか。

A 安全対策の徹底が必要だと認識している。

Q 事故や災害時の避難計画はあるのか。

A 「防災基本計画」が策定され、「安全対策協議会」を開催し、具体的対策の検討が行われていると聞いている。

Q 避難経路等の具体策を盛り込む「防災実施計画」は未定と聞く。その上、審議する「安全対策協議会」は原則非公開になっている。そのことへの見解は。

A 今後の情報を注視していきたい。

Q 参加を判断する主体はどこか。

A 各学校であり、校長が情報を集めて決定する。

Q 参加の判断について教育委員会の果たす役割は。

A 安全面等の情報提供を求めるとともに、参加の判断をした学校には安全確保に万全を期したうえで学習の目的が達成できるよう指導助言を行っていく。

政 務 活 動 費



▲詳細はこちらから

会派別一覧表（令和5年度4月交付分 収支報告書）（単位：円）					
交付会派名	人数	令和5年度4月 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額
公政会	8名	173,333	6,270	0	167,063
公明党彦根市議団	2名	43,333	2,750	0	40,583
日本共産党彦根市会議員団	2名	43,333	19,067	0	24,266

会派別一覧表（令和5年度5～3月交付分 収支報告書）（単位：円）					
交付会派名	人数	令和5年度5～3月 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額
創風会	6名	1,430,000	1,194,809	0	235,191
公政会	4名	953,333	864,165	0	89,168
夢みらい	4名	953,333	409,214	0	544,119
親政クラブ	4名	953,333	960,274	6,941	0
公明党彦根市議団	2名	476,666	183,698	0	292,968
日本共産党彦根市会議員団	2名	476,666	522,894	46,228	0
薫風	1名	238,333	243,822	5,489	0
森野 克彦	1名	238,333	50,160	0	188,173

政務活動費とは？

議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金です。

本市では、各会派（所属議員が1人の場合も含む）に対して所属議員1人当たり年26万円を交付していますが、昨年度は改選があったため、上記表のとおり分かれています。

交付の対象は？

本市では、「会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費」、「会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費」等、使途基準を条例（彦根市議会政務活動費の交付に関する条例）で定めており、基準に合致しない等の理由で政務活動費が余った場合は、返還することになっています。

透明性の高い運用をするために

本市では政務活動費の使途基準を条例で定め明確化するとともに、領収書を添えた収支報告書の提出を義務付けています。また、平成28年度分から、ホームページで領収書の公開も開始しました。

議員表彰

矢吹安子議員が全国市議会議長会会長から、25年特別表彰を受けられました。



本会議で「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ彦根市PRポロシャツ」を 一斉着用しました

彦根市議会では、6月定例会閉会日に2025年開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」開催をPRするためPRポロシャツを一斉着用しました。



本会議・委員会の日程（予定）

※本会議の開始時刻が9：00から9：30に変更になりました。

月日	内容	時刻
9月2日(月)	開会	9：30
9月9日(月)	代表質問 個人質問	9：30
9月10日(火)		
9月11日(水)		
9月12日(木)		
9月17日(火)	予算常任委員会	9：30
9月18日(水)	市民産業建設常任委員会	9：30
9月19日(木)	企画総務消防常任委員会	9：30
9月20日(金)	福祉病院教育常任委員会	9：30
9月25日(水)	本会議	9：30
10月2日(水)	決算特別委員会	9：30
10月3日(木)		
10月4日(金)		
10月9日(水)	閉会	9：30

次の定例会は
9月です

ぜひ傍聴にお越しく下さい。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので是非お越しく下さい。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

本会議・委員会の傍聴の仕方

- ①議会課（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ②傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ
- ③お帰りの際、アンケートにご協力ください。